

後向き観察研究

「GVHD 関連腸炎と感染性腸炎の臨床病理学的比較検討」

情報公開文書

患者さんへ

「造血幹細胞移植後の GVHD 関連腸炎と
感染性腸炎の臨床病理学的比較検討」

についてのご説明

2017 年 09 月 29 日 第 1 版作成

1. はじめに

造血幹細胞移植は白血病や悪性リンパ腫などの血液疾患に対する有用な治療法の一つですが、移植後に発症する重大な合併症のひとつに Graft versus host disease (GVHD) 関連腸炎があります。GVHD 関連腸炎を合併した場合には早めの診断と治療が必要になりますが、同じく下痢や腹痛などの症状を呈する感染性腸炎との鑑別がしばしば困難になります。この 2 つの違いについては未だ明らかになっていない点も残されています。

今回私たちは、造血幹細胞移植後の GVHD 関連腸炎と感染性腸炎の特徴や違いを明らかにすることを目的に本研究を計画しました。

2. 対象となる患者さん

1991 年 1 月から 2015 年 12 月までの期間に札幌医科大学附属病院 消化器・免疫・リウマチ内科において造血幹細胞移植を施行された患者さんのうち、下部消化管内視鏡検査が行われ、GVHD 関連腸炎または感染性腸炎と診断された患者さんを対象としています。

3. この研究の内容

診療録(カルテ)から患者さんの性別や年齢、内視鏡所見などの情報を収集し、研究に用います。研究は札幌医科大学消化器内科学講座で行います。なお、この研究を行うことで患者さんに費用などの負担は生じません。

4. 個人情報の取扱いについて

本研究では個人情報の保護のため、個人を特定できる情報は収集せず、データのデジタル化やデータファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。また、本研究の結果を公表(学会や論文等)する際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

5. この研究に診療データを提供したくない場合の措置について

1991年1月から2015年12月までの期間に札幌医科大学附属病院 消化器・免疫・リウマチ内科において造血幹細胞移植を施行された患者さんの中で、この研究に診療情報を提供したくない方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

6. 研究期間について

病院長の承認日から2018年3月31日までの期間を予定しています。

7. 医学上の貢献

本研究によって、GVHD 関連腸炎や移植後感染性腸炎について、新たな知見を得ることが出来る可能性があります。

8. 問い合わせ先

研究責任者 札幌医科大学 消化器内科学講座 講師 山下 健太郎

研究分担者 札幌医科大学 消化器内科学講座 助教 小野寺 馨

連絡先 教室 電話:011-611-2111(内線 32110) 教室

対応時間 平日 9～17時(平日日中のみの対応となります)